



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 クボテック株式会社
 コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 記虎政史 TEL 06-6443-1815
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,881	14.9	28		38		101	
2019年3月期	1,637	49.8	742		632		102	16.5

(注) 包括利益 2020年3月期 105百万円 (%) 2019年3月期 99百万円 (28.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	7.34		7.9	1.2	1.5
2019年3月期	7.44		8.0	17.0	45.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	2,799	1,221	43.6	88.69
2019年3月期	3,600	1,327	36.9	96.39

(参考) 自己資本 2020年3月期 1,221百万円 2019年3月期 1,327百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	240	171	445	1,843
2019年3月期	23	1,284	89	2,228

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	300	75.9	345		350		355		25.78
通期	1,100	41.5	290		300		310		22.52

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	13,830,000 株	2019年3月期	13,830,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	62,159 株	2019年3月期	62,159 株
期中平均株式数	2020年3月期	13,767,841 株	2019年3月期	13,767,841 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,571	47.0	57		46		17	
2019年3月期	1,069	62.7	783		684		82	23.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	1.30	
2019年3月期	6.01	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	2,648	1,210	45.7	87.92
2019年3月期	3,345	1,227	36.7	89.16

(参考) 自己資本 2020年3月期 1,210百万円 2019年3月期 1,227百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
生産、受注及び販売の状況	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、米中貿易摩擦に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により世界経済が減速し、先行きの不透明感が強まりました。フラットパネルディスプレイ (FPD) 分野におきましては、FPDメーカーの設備投資が抑制され、厳しい受注環境が続きました。

このような環境の中、当社グループでは、品質や採算を重視した製品戦略により収益性の改善に努めてまいりました。この結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高1,881百万円（前連結会計年度比14.9%増）、営業損失28百万円（前連結会計年度は営業損失742百万円）、経常損失38百万円（前連結会計年度は経常損失632百万円）となり、京都工場等に係る固定資産の減損損失54百万円などを特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は101百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益102百万円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値でありませ

（日本）

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上が増加しました。この結果、売上高は1,343百万円（前連結会計年度比33.5%増）、セグメント利益は57百万円（前連結会計年度はセグメント損失783百万円）となりました。

（米国）

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト「KEYCREATOR」等の売上が増加しましたが、売上原価の増加により損失が増加しました。この結果、売上高は417百万円（前連結会計年度比8.8%増）、セグメント損失は66百万円（前連結会計年度はセグメント利益5百万円）となりました。

（韓国）

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の売上が減少しました。この結果、売上高は119百万円（前連結会計年度比51.5%減）、セグメント損失は54百万円（前連結会計年度はセグメント利益16百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ800百万円減少しました。流動資産は現金及び預金の減少384百万円、売上債権の減少258百万円、棚卸資産の減少67百万円などにより、756百万円減少しました。固定資産は京都工場等に係る固定資産の減損損失などによる有形固定資産の減少59百万円、ソフトウェアの取得などによる無形固定資産の増加18百万円などにより、44百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ694百万円減少しました。流動負債は仕入債務の減少235百万円、関係会社整理損失引当金の減少32百万円などにより、305百万円減少しました。固定負債は長期借入金の減少379百万円などにより、389百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純損失101百万円の計上などにより、純資産合計が105百万円減少しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ384百万円減少し、1,843百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果取得した資金は、240百万円（前連結会計年度は資金の使用23百万円）となりました。

これは主に減価償却費の計上158百万円、減損損失の計上54百万円、売上債権の減少257百万円、たな卸資産の減少67百万円などの資金増加、税金等調整前当期純損失の計上98百万円、仕入債務の減少232百万円などの資金減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、171百万円（前連結会計年度は資金の取得1,284百万円）となりました。

これは主にソフトウェアの取得による支出162百万円などの資金減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、445百万円（前連結会計年度は資金の使用89百万円）となりました。
これは主に長期借入金の返済による支出445百万円の資金減少によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第34期 2019年3月期	第35期 2020年3月期
自己資本比率	36.9	43.6
時価ベースの自己資本比率	130.4	139.2
キャッシュ・フロー対有利子 負債比率	—	4.6
インタレスト・カバレッジ・ レシオ	—	24.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- ※1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
2. 株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式除く)により算出しております。
3. 営業キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大、それに伴う各国のロックダウン、外出自粛、渡航制限などの対策により、当社グループの事業活動が大きく制約され続ける可能性があり、非常に厳しい事業環境が続くものと見込まれます。

次期の連結業績予想につきましては、先行きが極めて不透明であり、合理的な算定が困難な状況ではありますが、上期は現状と同程度の影響が継続、下期にかけて徐々に影響が逓減していくと仮定し、売上高1,100百万円(前連結会計年度比41.5%減)、営業損失290百万円(前連結会計年度は営業損失28百万円)、経常損失300百万円(前連結会計年度は経常損失38百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失310百万円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失101百万円)を見込んでおります。

「業績予想に関する留意事項」

この資料に記載されている2021年3月期の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。従いまして、投資等の判断を行うに際しては、これらの業績見通しのみには依拠することは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

現在当社の主たる事業活動領域は液晶、次世代ディスプレイ、機能性フィルムなどの検査機システムですが、生産効率化への寄与、新素材への対応など、急速な技術開発を特徴とする市場であり、需要の変動、設備投資額の動向、価格、競争状況、経済環境の変化、その他多くの要因が業績に影響を与えることがあります。また当社は国内だけではなく海外においても取引を行っております。現在はほぼ円貨建取引を行っておりますが、将来外貨建取引が増え、為替相場の変動が業績に影響を与える状況になる可能性もあります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2期連続して営業損失を計上し、また受注残高が著しく減少しております。特定の市場・顧客の設備投資及び特定の顧客からの受注動向によって、業績の変動が避けられず継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、当該事象等を解消するため事業構造の改革に取り組んでおり、重要な資金繰り懸念もないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

当該事象等を解消するための具体的な施策は、次のとおりであります。

画像処理外観検査装置においては、特定の市場や顧客の設備投資動向、受注に依存するこれまでの状況から、機能性フィルムや次世代パネル検査装置などの品質や採算を重視した市場、製品を収益の柱とする事業への転換を進めております。

3Dソリューションシステムにおいては、当社エンジンを採用した3次元比較検証ソフトウェアなど新製品や、メディアネット機器では、市場ニーズの高い放送局向けなどにHEVCを採用した映像伝送装置の販売拡大に注力しています。

生産に関しては工場を統廃合し業務の効率化を図り、また人件費など固定費を削減することで、財務体質の強化を進めております。

さらに新規事業として次世代フライホイールを用いた大出力発電装置やオーディオ事業の早期事業化を推進してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,260,197	1,875,636
受取手形及び売掛金	736,530	507,002
電子記録債権	81,793	52,800
商品及び製品	8,259	12,484
仕掛品	175,784	105,452
原材料及び貯蔵品	42,142	40,812
その他	61,531	16,049
貸倒引当金	△24,180	△24,403
流動資産合計	3,342,060	2,585,833
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	308,182	296,258
減価償却累計額	△278,798	△289,946
工具、器具及び備品 (純額)	29,383	6,312
その他	230,850	196,633
減価償却累計額	△192,695	△194,983
その他 (純額)	38,155	1,650
有形固定資産合計	67,539	7,962
無形固定資産		
ソフトウェア	158,975	179,815
その他	2,285	0
無形固定資産合計	161,260	179,815
投資その他の資産		
投資有価証券	5,867	4,645
繰延税金資産	1,027	705
破産更生債権等	238	196
その他	22,688	20,683
貸倒引当金	△238	△196
投資その他の資産合計	29,582	26,034
固定資産合計	258,383	213,811
資産合計	3,600,443	2,799,645

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	266,251	30,619
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	445,424	379,424
未払法人税等	9,645	6,407
前受金	218,047	225,388
賞与引当金	9,540	3,840
関係会社整理損失引当金	32,430	-
その他	125,762	156,046
流動負債合計	1,307,102	1,001,726
固定負債		
長期借入金	901,864	522,440
繰延税金負債	6,120	2,274
退職給付に係る負債	50,652	46,776
その他	7,677	5,295
固定負債合計	966,314	576,786
負債合計	2,273,416	1,578,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△576,694	△677,722
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	1,293,338	1,192,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△747	-
為替換算調整勘定	34,435	28,822
その他の包括利益累計額合計	33,688	28,822
純資産合計	1,327,026	1,221,133
負債純資産合計	3,600,443	2,799,645

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,637,850	1,881,111
売上原価	1,495,387	1,163,997
売上総利益	142,463	717,114
販売費及び一般管理費	885,406	745,996
営業損失(△)	△742,943	△28,882
営業外収益		
受取利息	406	503
受取配当金	124	188
受取賃貸料	277	-
貯蔵品売却益	126,089	192
その他	530	90
営業外収益合計	127,428	975
営業外費用		
支払利息	13,643	10,323
為替差損	3,053	496
その他	190	15
営業外費用合計	16,887	10,836
経常損失(△)	△632,402	△38,742
特別利益		
固定資産売却益	763,205	-
関係会社清算益	-	1,483
特別利益合計	763,205	1,483
特別損失		
減損損失	-	54,833
投資有価証券評価損	-	4,525
関係会社整理損	2,398	-
特別退職金	-	1,456
特別損失合計	2,398	60,816
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	128,404	△98,075
法人税、住民税及び事業税	24,327	6,524
法人税等調整額	1,621	△3,572
法人税等合計	25,949	2,952
当期純利益又は当期純損失(△)	102,454	△101,028
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	102,454	△101,028

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	102,454	△101,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△391	747
為替換算調整勘定	△2,131	△5,612
その他の包括利益合計	△2,522	△4,865
包括利益	99,931	△105,893
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	99,931	△105,893
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,951,750	△679,148	△81,717	1,190,883	△355	36,566	36,211	1,227,094
当期変動額								
親会社株主に帰属する 当期純利益		102,454		102,454				102,454
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）					△391	△2,131	△2,522	△2,522
当期変動額合計	-	102,454	-	102,454	△391	△2,131	△2,522	99,931
当期末残高	1,951,750	△576,694	△81,717	1,293,338	△747	34,435	33,688	1,327,026

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,951,750	△576,694	△81,717	1,293,338	△747	34,435	33,688	1,327,026
当期変動額								
親会社株主に帰属する 当期純損失（△）		△101,028		△101,028				△101,028
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）					747	△5,612	△4,865	△4,865
当期変動額合計	-	△101,028	-	△101,028	747	△5,612	△4,865	△105,893
当期末残高	1,951,750	△677,722	△81,717	1,192,310	-	28,822	28,822	1,221,133

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	128,404	△98,075
減価償却費	189,372	158,964
減損損失	-	54,833
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△76,543	203
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,530	△5,700
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,081	△3,876
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	2,398	△32,430
受取利息及び受取配当金	△530	△692
支払利息	13,643	10,323
為替差損益 (△は益)	△1,313	1,008
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	4,525
有形固定資産売却損益 (△は益)	△763,205	-
売上債権の増減額 (△は増加)	572,174	257,744
たな卸資産の増減額 (△は増加)	165,275	67,050
未収消費税等の増減額 (△は増加)	30,351	14,381
未払消費税等の増減額 (△は減少)	-	40,895
仕入債務の増減額 (△は減少)	△210,912	△232,770
前受金の増減額 (△は減少)	△4,210	10,330
前払費用の増減額 (△は増加)	14,248	△893
未払金の増減額 (△は減少)	△38,363	20,772
その他	17,413	△8,187
小計	32,753	258,410
利息及び配当金の受取額	527	689
利息の支払額	△14,128	△9,677
法人税等の支払額	△43,080	△8,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	△23,928	240,811
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2,493	△2,556
有形固定資産の取得による支出	△20,775	△8,196
有形固定資産の売却による収入	1,478,073	-
ソフトウェアの取得による支出	△170,595	△162,511
その他	△31	1,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,284,178	△171,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△900,000	-
長期借入れによる収入	1,300,000	-
長期借入金の返済による支出	△489,712	△445,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,712	△445,424
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,757	△8,576
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,160,780	△384,564
現金及び現金同等物の期首残高	1,067,746	2,228,526
現金及び現金同等物の期末残高	2,228,526	1,843,962

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「有形固定資産」の「建物及び構築物（純額）」、「機械装置及び運搬具（純額）」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「有形固定資産」に表示していた「建物及び構築物」199,143千円、「機械装置及び運搬具」31,707千円は、「その他」230,850千円として、建物及び構築物の「減価償却累計額」△163,581千円、機械装置及び運搬具の「減価償却累計額」△29,114千円は、その他の「減価償却累計額」△192,695千円として、「建物及び構築物（純額）」35,562千円、「機械装置及び運搬具（純額）」2,593千円は、「その他（純額）」38,155千円としてそれぞれ組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、画像処理外観検査装置の他、3Dソリューションシステム及びメディアネット機器を生産・販売しております。主な生産活動は当社が担当し、販売活動のうち、国内とアジア地域においては当社と韓国子会社が、米州においては米国子会社が担当しております。

海外子会社はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「韓国」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、直近の有価証券報告書の「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	1,006,709	383,960	247,180	1,637,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62,571	12,615	47,607	122,794
計	1,069,280	396,576	294,787	1,760,645
セグメント利益又は損失(△)	△783,479	5,397	16,973	△761,108
セグメント資産	3,345,256	143,569	168,299	3,657,125
その他の項目				
減価償却費	195,876	5,488	44	201,409
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	179,251	13,811	—	193,063

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	1,343,579	417,584	119,947	1,881,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	227,775	—	18,856	246,631
計	1,571,354	417,584	138,804	2,127,743
セグメント利益又は損失(△)	57,792	△66,711	△54,480	△63,400
セグメント資産	2,648,955	101,747	100,395	2,851,098
その他の項目				
減価償却費	153,387	6,649	58	160,095
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	178,509	962	255	179,727

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,760,645	2,127,743
セグメント間取引消去	△122,794	△246,631
連結財務諸表の売上高	1,637,850	1,881,111

(単位：千円)

損失	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△761,108	△63,400
セグメント間取引消去	5,351	5,262
内部利益の調整額	12,215	△6,541
貸倒引当金の調整額	598	35,796
連結財務諸表の営業損失(△)	△742,943	△28,882

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,657,125	2,851,098
セグメント間取引消去	△359,884	△380,733
内部利益の調整額	△2,070	△8,611
その他	305,273	337,892
連結財務諸表の資産合計	3,600,443	2,799,645

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	201,409	160,095	△12,037	△1,130	189,372	158,964
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	193,063	179,727	△1,130	△6,778	191,932	172,948

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、内部利益の消去額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	画像処理外観検査装置	3Dソリューションシステム	その他	合計
外部顧客への売上高	928,241	534,079	175,529	1,637,850

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	台湾	中国	米州	その他	合計
725,219	247,327	183,662	96,923	347,603	37,113	1,637,850

(注) 当社及び連結子会社の国又は地域における売上高であり、国又は地域の区分は地理的近接度によっておりません。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	その他	合計
57,072	10,351	115	67,539

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ウィンテック	172,690	日本
ダイトロン株式会社	170,575	日本

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	画像処理外観検査装置	3Dソリューションシステム	その他	合計
外部顧客への売上高	1,181,034	558,235	141,841	1,881,111

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	台湾	中国	米州	その他	合計
1,185,120	122,647	135,624	17,893	373,812	46,013	1,881,111

(注) 当社及び連結子会社の国又は地域における売上高であり、国又は地域の区分は地理的近接度によっておりません。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	その他	合計
1,650	6,085	226	7,962

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ウィンテック	609,775	日本
ダイترون株式会社	229,474	日本

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
減損損失	54,833	—	—	54,833

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	96円39銭	88円69銭
1株当たり当期純利益金額又は1株 当たり当期純損失金額(△)	7円44銭	△7円34銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、前連結会計年度は潜在株式が存在しないため、当連結会計年度は1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	102,454	△101,028
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る 親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	102,454	△101,028
普通株式の期中平均株式数(株)	13,767,841	13,767,841

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当連結会計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前期比(%)
日本	1,272,546	+39.0
米国	417,580	+8.8
韓国	124,411	△48.4
合計	1,814,538	+17.8

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 金額は、販売価格によっております。
3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前期比(%)	受注残高(千円)	前期比(%)
日本	371,867	△40.2	92,177	△88.2
韓国	114,883	△51.9	1,890	△65.3
合計	486,751	△43.4	94,067	△88.1

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 米国については、見込生産を行っているため受注実績はありません。

(3) 販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前期比(%)
日本	1,343,579	+33.5
米国	417,584	+8.8
韓国	119,947	△51.5
合計	1,881,111	+14.9

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前連結会計年度		当連結会計年度	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社ウィンテック	172,690	10.5	609,775	32.4
ダイトロン株式会社	170,575	10.4	229,474	12.2

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。